

**2026年3月期 第3四半期
決算報告資料**

松井証券株式会社

2026年1月28日

INDEX

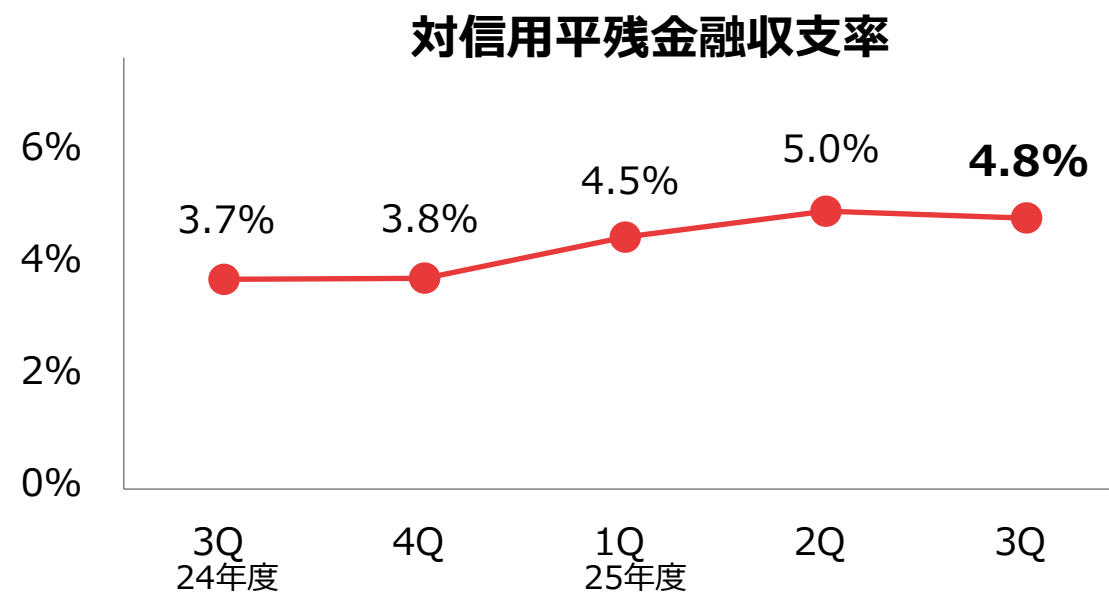
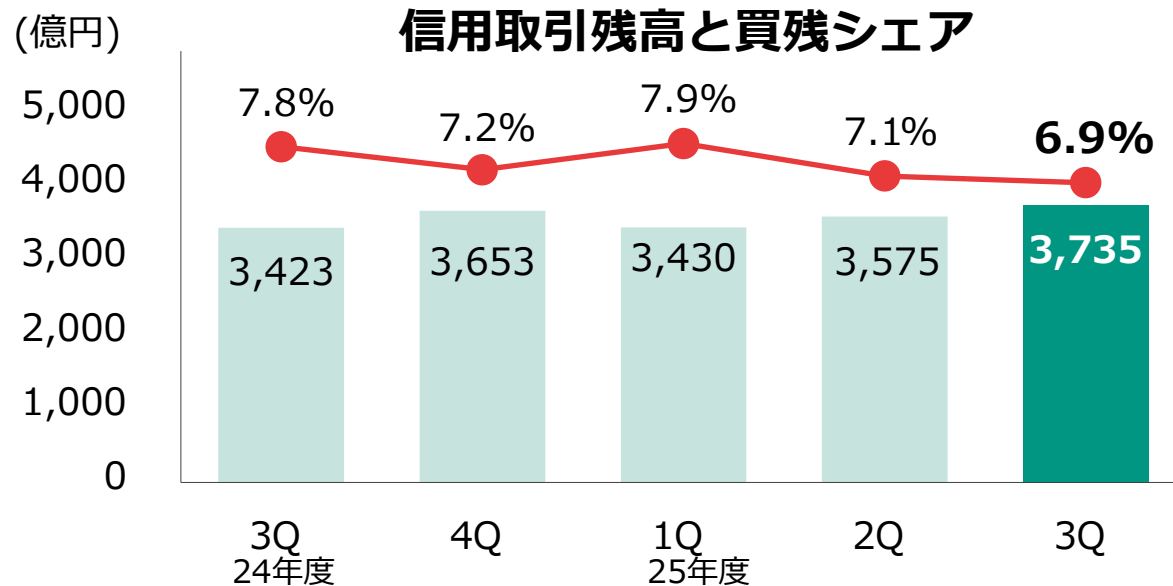
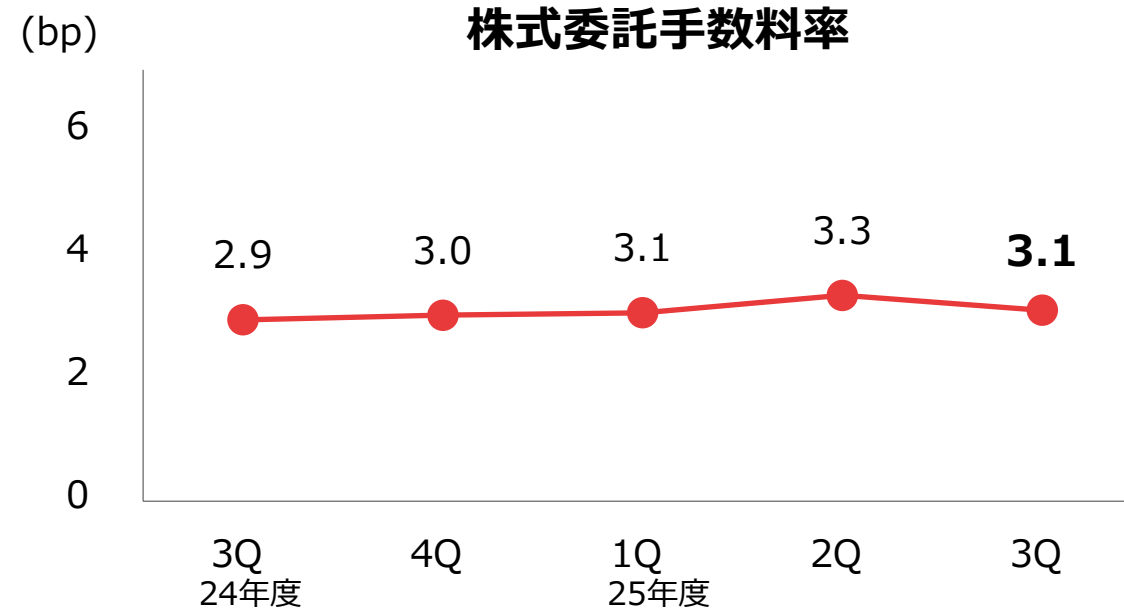
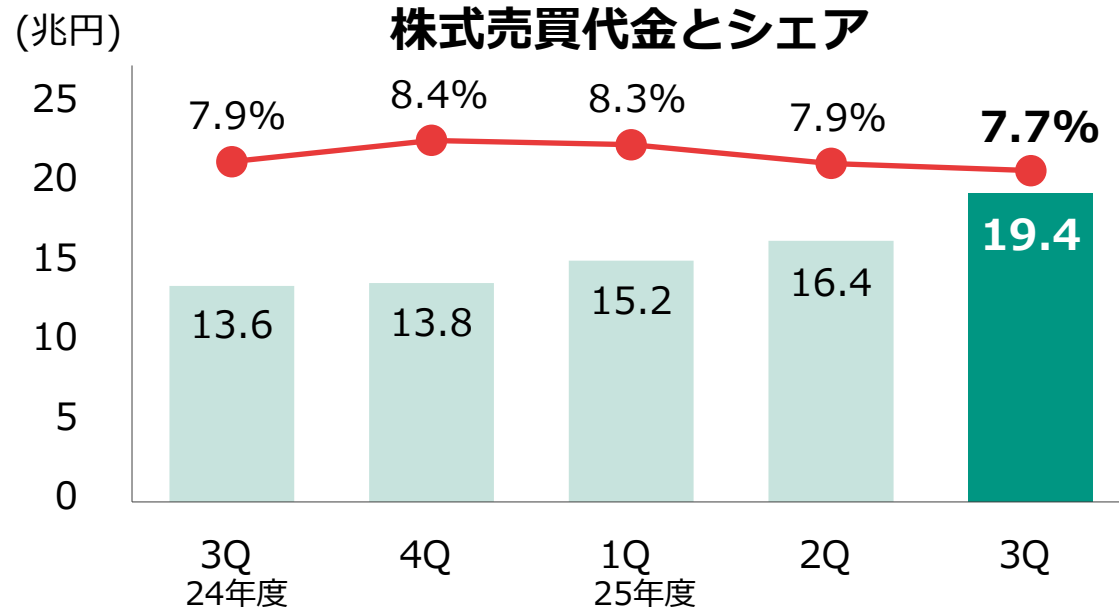
01 決算の状況

02 ビジネスの状況

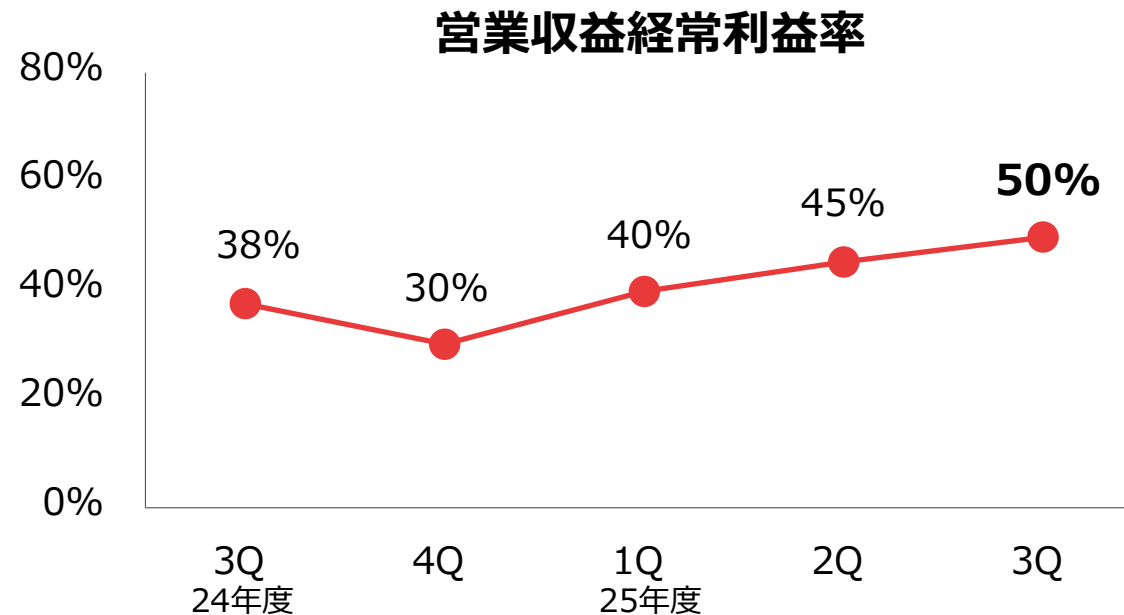
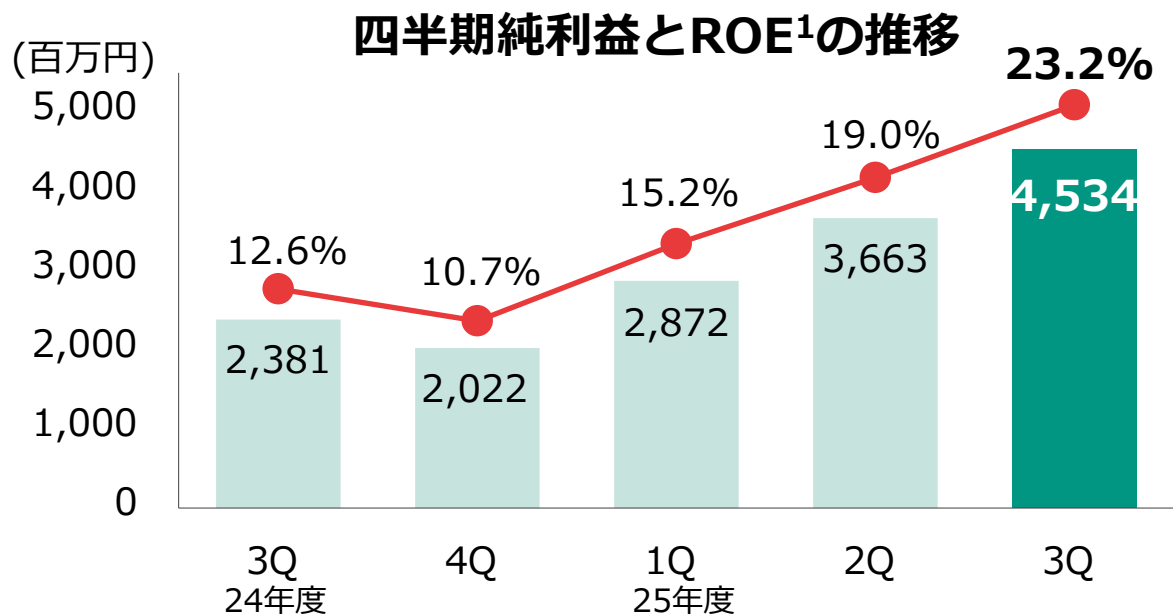
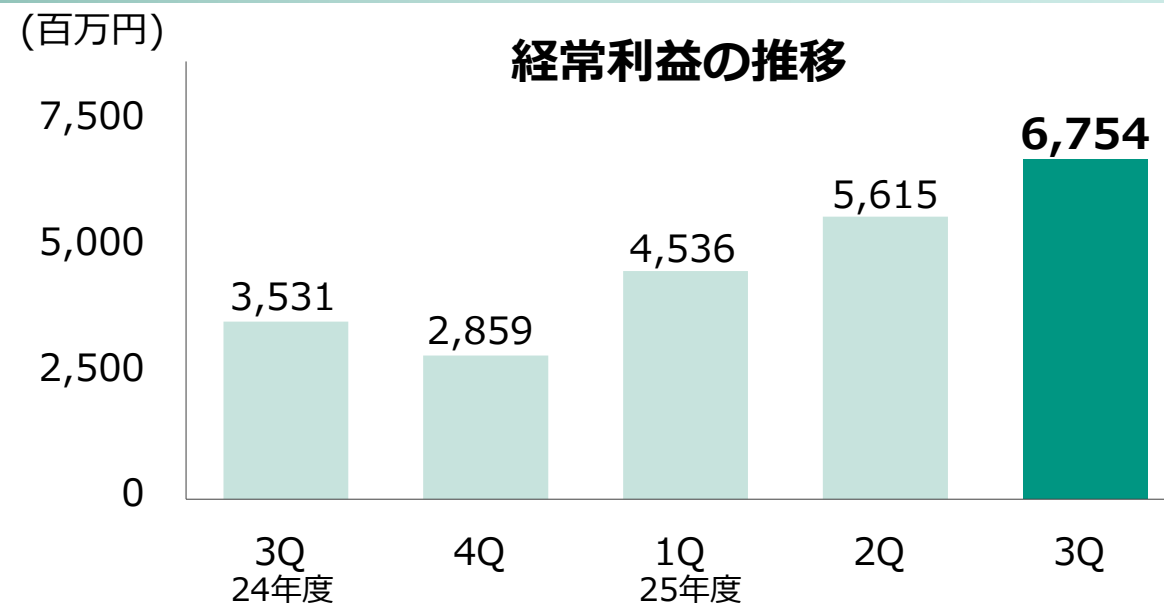
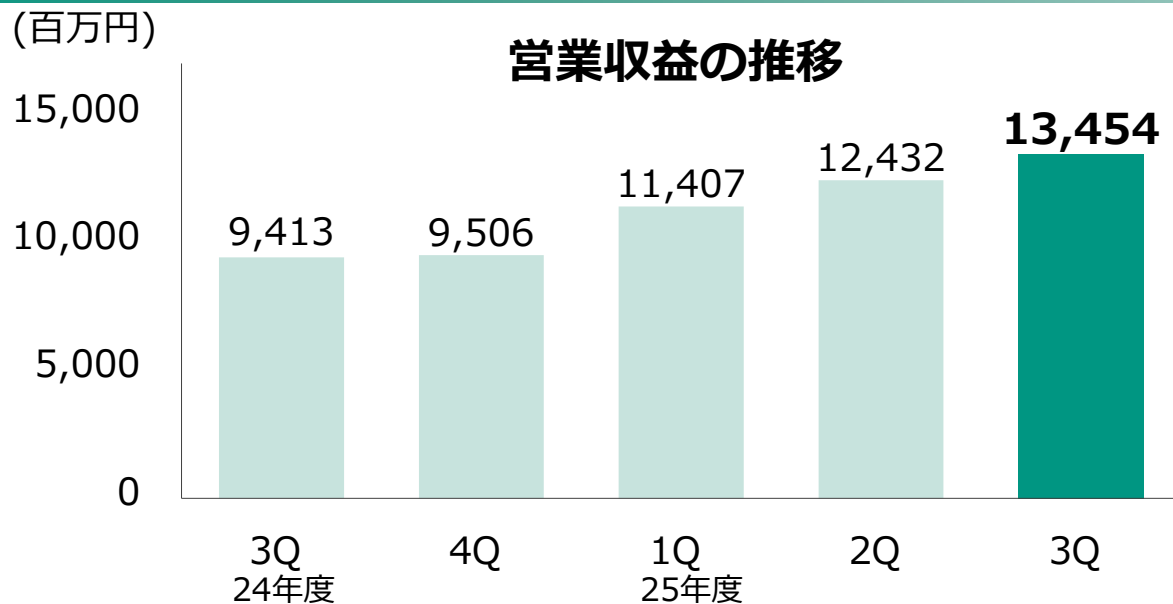
03 経営戦略・取組み施策

Appendix

ビジネスの概況



決算の概況



注1：ROEは各四半期毎に年換算して算出

決算の状況

26年3月期3Qの業績（前年同期比）①

営業収益は**373億円**（前年同期比**26%増**）
経常利益は**169億円**（同**36%増**）、当期純利益は**111億円**（同**31%増**）

（単位：百万円）

	25年3月期3Q(9ヶ月)	26年3月期3Q(9ヶ月)	前年同期比
営業収益	29,698	37,293	26%
純営業収益	28,324	34,952	23%
販管費	15,848	18,443	16%
営業利益	12,476	16,509	32%
経常利益	12,433	16,905	36%
当期純利益	8,479	11,069	31%
営業収益経常利益率	42%	45%	-
当社株式売買代金（兆円）	40.7	51.1	26%
当社信用取引平残（億円）	3,664	3,473	-5%

26年3月期3Qの業績（前年同期比）②

受入手数料は**181億円**（前年同期比**19%増**）
金融収支は**125億円**（同**24%増**）

（単位：百万円）

	25年3月期3Q(9ヶ月)	26年3月期3Q(9ヶ月)	前年同期比
受入手数料	15,197	18,083	19%
委託手数料	14,387	17,217	20%
株式・ETF	13,549	16,457	21%
先物・オプション	839	759	-9%
その他	810	866	7%
トレーディング損益	3,052	4,419	45%
金融収支	10,074	12,451	24%
金融収益	11,449	14,792	29%
金融費用	1,374	2,341	70%
純営業収益	28,324	34,952	23%

26年3月期3Qの業績（前年同期比）③

販管費は**184億円**（前年同期比**16%増**）

（単位：百万円）

	25年3月期3Q(9ヶ月)	26年3月期3Q(9ヶ月)	前年同期比
取引関係費	4,842	5,912	22%
取引所・協会費	1,159	1,330	15%
通信・運送費	981	1,060	8%
広告宣伝費	1,834	2,549	39%
人件費	2,975	3,527	19%
不動産関係費	826	910	10%
事務費	3,974	4,700	18%
減価償却費	2,683	2,774	3%
租税公課	351	425	21%
貸倒引当金繰入	11	△ 28	-
その他	186	222	19%
販管費合計	15,848	18,443	16%

26年3月期3Qの業績（直前四半期比）①

営業収益は**135億円**（直前四半期比**8%増**）
経常利益は**68億円**（同**20%増**）、当期純利益は**45億円**（同**24%増**）

（単位：百万円）

	26年3月期2Q	26年3月期3Q	直前Q比
営業収益	12,432	13,454	8%
純営業収益	11,610	12,629	9%
販管費	6,016	6,383	6%
営業利益	5,594	6,247	12%
経常利益	5,615	6,754 [※]	20%
当期純利益	3,663	4,534	24%
営業収益経常利益率	45%	50%	-
当社株式売買代金（兆円）	16.4	19.4	18%
当社信用取引平残（億円）	3,388	3,745	11%

※ 26年3月期第3四半期において、主として投資事業組合の運用損益による営業外損益約5億円を利益計上しています。

26年3月期3Qの業績（直前四半期比）②

受入手数料は**67億円**（直前四半期比**10%増**）
金融収支は**45億円**（同**7%増**）

（単位：百万円）

	26年3月期2Q	26年3月期3Q	直前Q比
受入手数料	6,101	6,736	10%
委託手数料	5,823	6,398	10%
株式・ETF	5,593	6,143	10%
先物・オプション	230	254	11%
その他	278	338	22%
トレーディング損益	1,295	1,365	5%
金融収支	4,214	4,529	7%
金融収益	5,036	5,354	6%
金融費用	822	825	0%
純営業収益	11,610	12,629	9%

26年3月期3Qの業績（直前四半期比）③

販管費は64億円（直前四半期比6%増）

（単位：百万円）

	26年3月期2Q	26年3月期3Q	直前Q比
取引関係費	1,849	2,139	16%
取引所・協会費	439	458	4%
通信・運送費	347	351	1%
広告宣伝費	741	975	32%
人件費	1,132	1,169	3%
不動産関係費	303	302	-0%
事務費	1,600	1,635	2%
減価償却費	911	944	4%
租税公課	138	155	12%
貸倒引当金繰入	3	△ 28	-
その他	81	67	-17%
販管費合計	6,016	6,383	6%

金利上昇時のBSにおける影響範囲と業績への影響

収益増加 (金融収益)

主に定期預金で運用
金利上昇により
運用収益増加

運用

預託金
7,739億円

調達

預かり金
4,850億円
受入保証金
3,668億円

ニュートラルor

収益増加 (金融収益)

貸付金利を引き上げれば
収益増加 (他社動向の影響)

信用取引貸付金
(信用買残高)
3,371億円

借入金
2,684億円

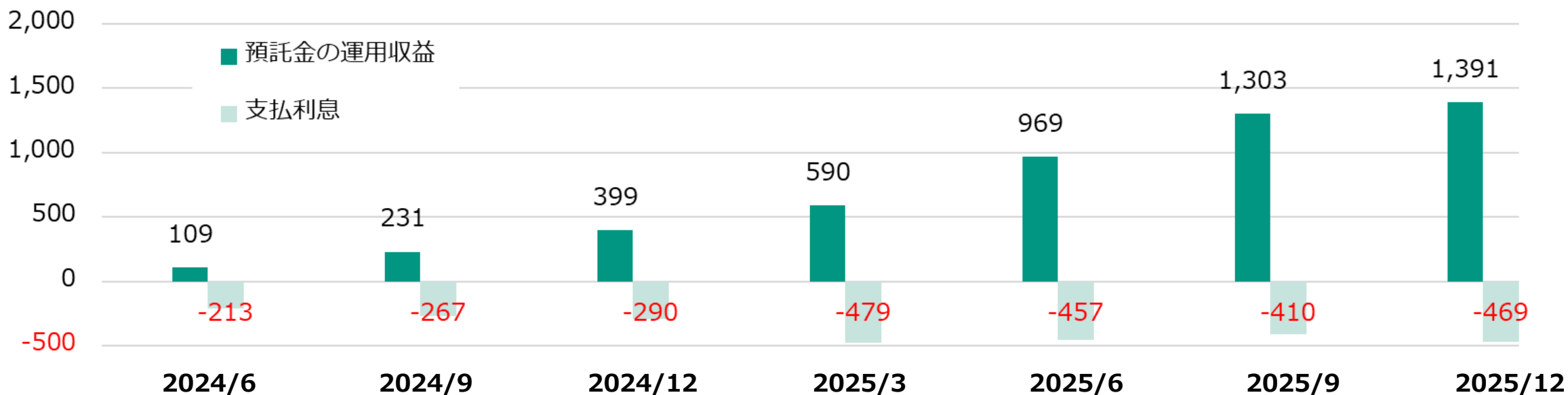
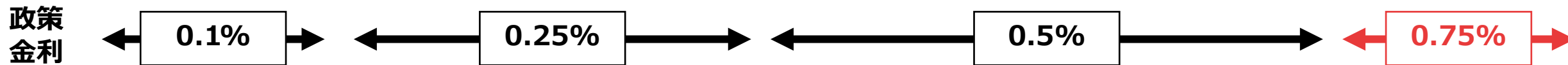
費用増加 (金融費用)

信用取引の資金調達
コストの上昇により
費用増加

金利上昇の業績への影響②

預託金の増加と定期預金金利の上昇により運用収益が増加 支払利息も増加するものの収支は拡大

注) 運用収益・支払利息は四半期の数値
その他は、四半期末の数値



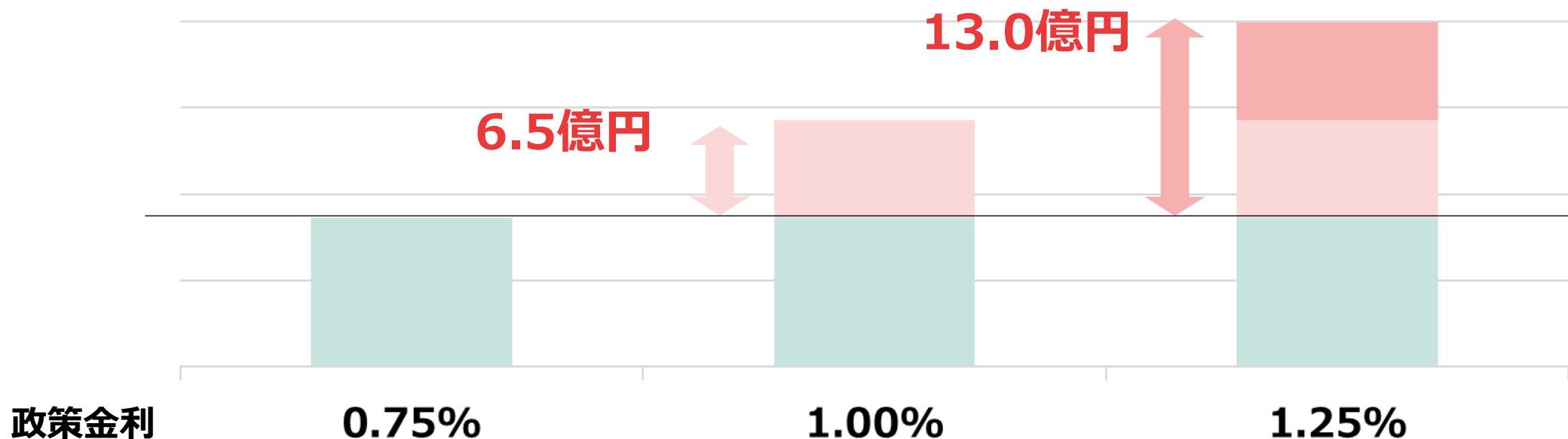
預託金	657,712	602,212	661,212	621,312	672,412	774,412	773,912
信用取引借入金	15,748	7,027	6,607	10,983	9,634	10,574	4,503
短期借入金	285,900	270,000	263,000	302,950	262,950	222,900	263,900

政策金利+25bpあたり6.5億円/年の増収

■ 預託金の運用収益と支払利息の差額の推移イメージ

【シミュレーションの前提】

- ✓ 預託金の運用額7,000億円、借入金3,000億円
- ✓ 政策金利25bp上昇につき、運用金利20bp・調達金利25bpアップ
- ✓ $7,000\text{億円} \times 20\text{bp} - 3,000\text{億円} \times 25\text{bp} = 6.5\text{億円}$



自己資本規制比率

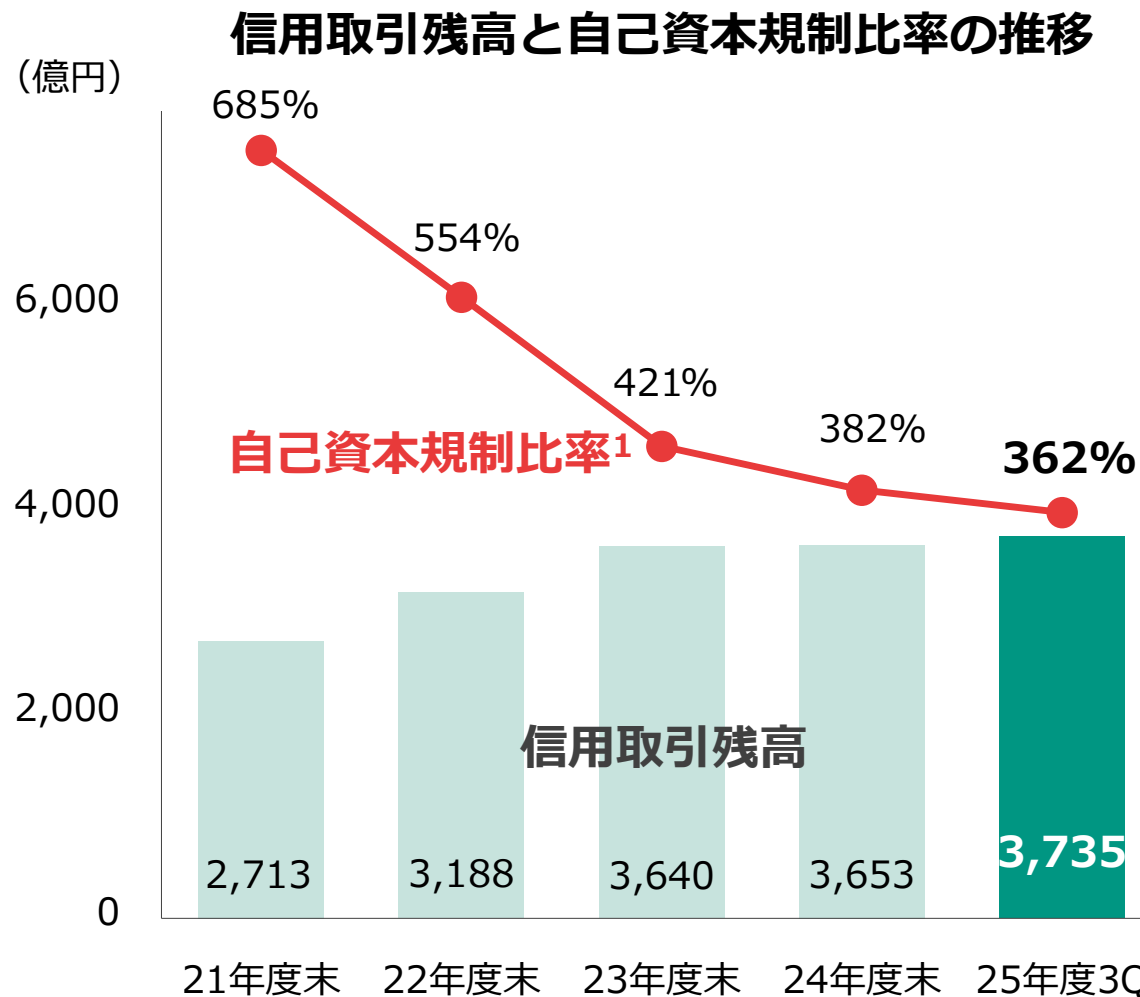
現在の事業を支える上で、十分な規模の自己資本が積みあがっており
現状における適正な水準を達成している

自己資本規制比率（2025年12月末）

(単位：百万円)

基本的項目	(A)	75,542
補完的項目	その他有価証券評価差額金(評価益)等	2,086
	金融商品取引責任準備金等	5,188
	一般貸倒引当金	6
計	(B)	7,281
控除資産	(C)	25,181
固定化されていない自己資本	(A) + (B) - (C)	(D) 57,643
リスク相当額	市場リスク相当額	263
	取引先リスク相当額	10,116
	基礎的リスク相当額	5,510
計	(E)	15,890
自己資本規制比率	(D)/(E)	362%

※ 自己資本規制比率は社外流出後



2026年3月期は、1株あたり25円の間配当を実施 期末の配当予定額は、2月下旬に発表

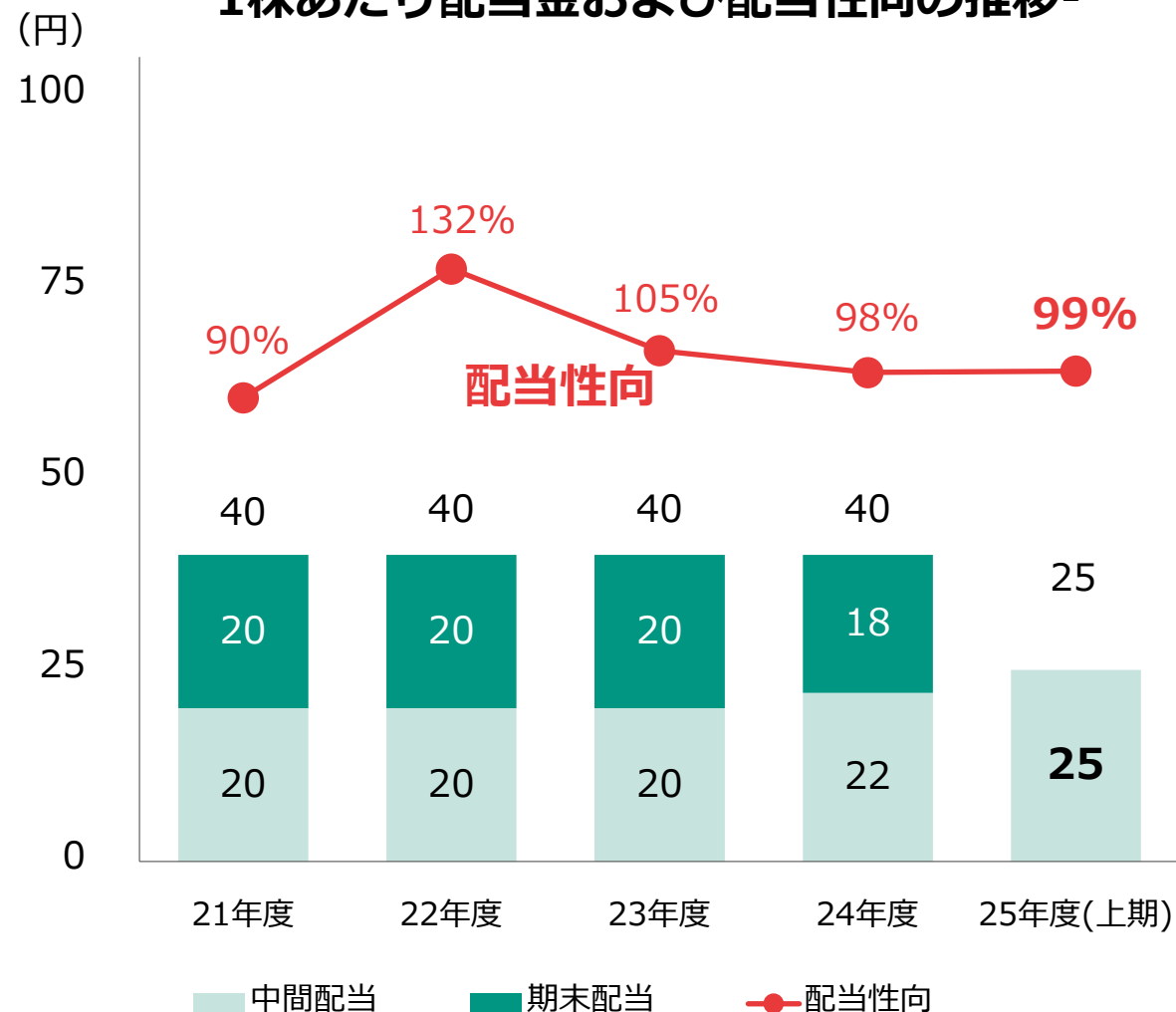
2026年3月期の間配当

- 中間配当 : 1株あたり**25円**
- 配当性向 : 99%
- DOE : 16.5%
- ROE : 16.8%

配当政策の基本方針

- 配当性向 : 60%以上
且つ
- 純資産配当率 (DOE) : 8%以上

1株あたり配当金および配当性向の推移¹

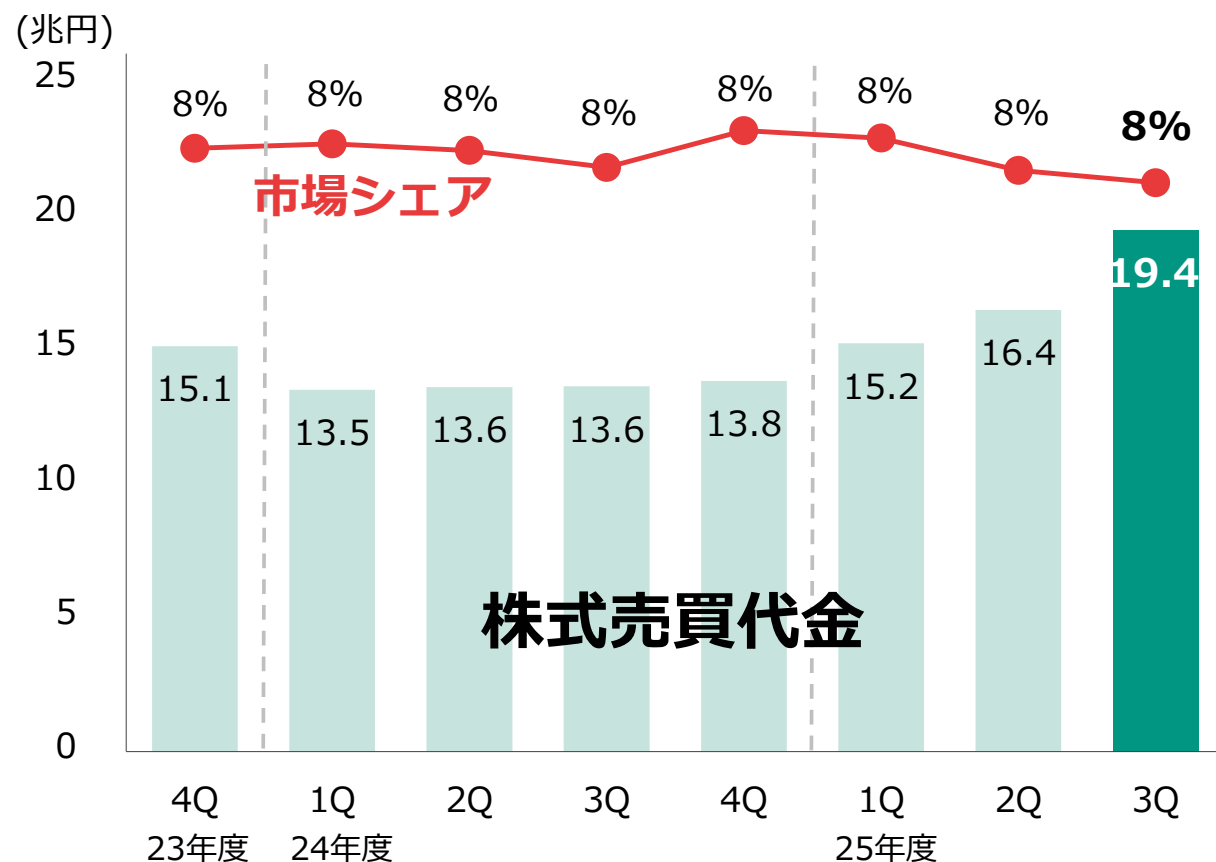


注1: 配当性向は普通配当に対する実績

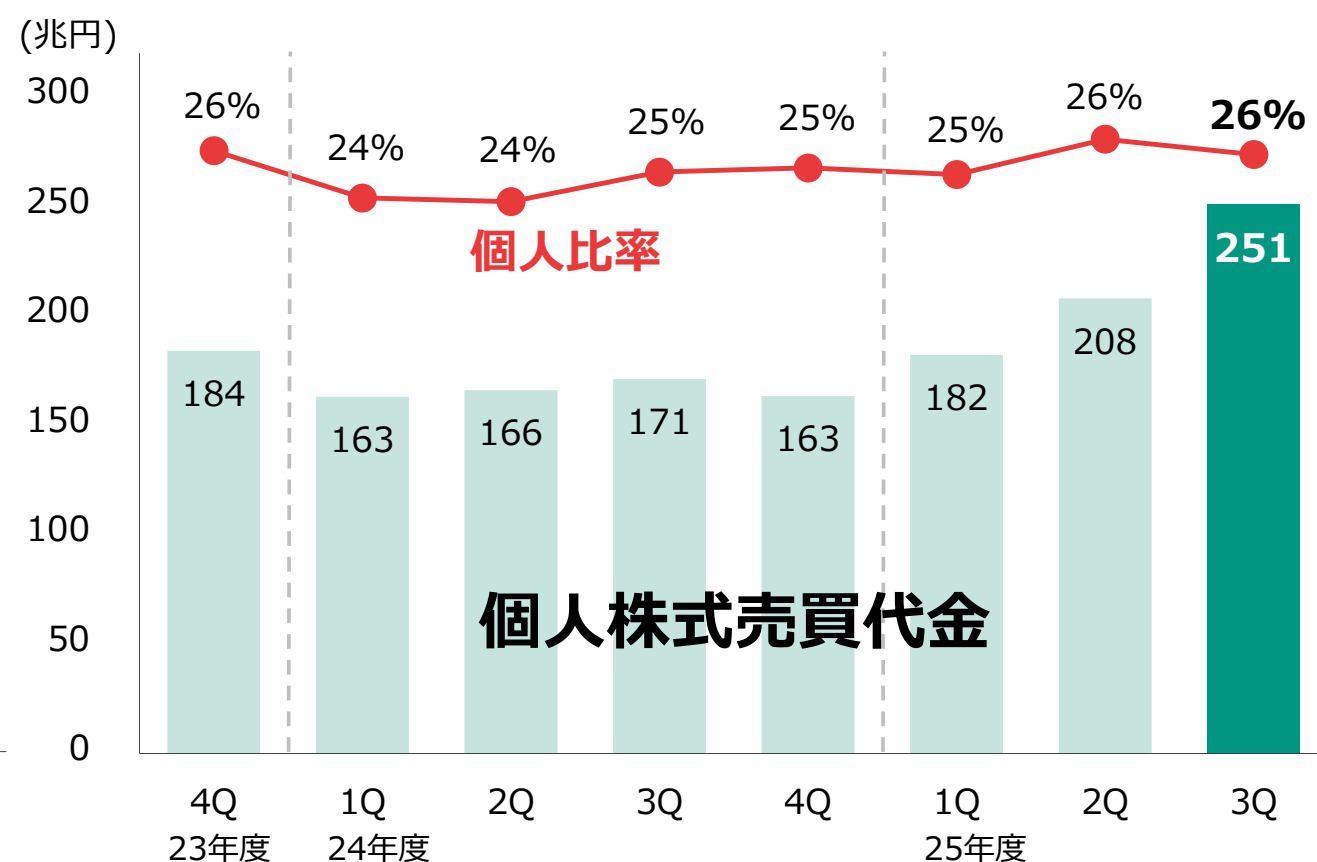
ビジネスの状況

当社の市場シェアは **8%**

株式売買代金と市場シェア

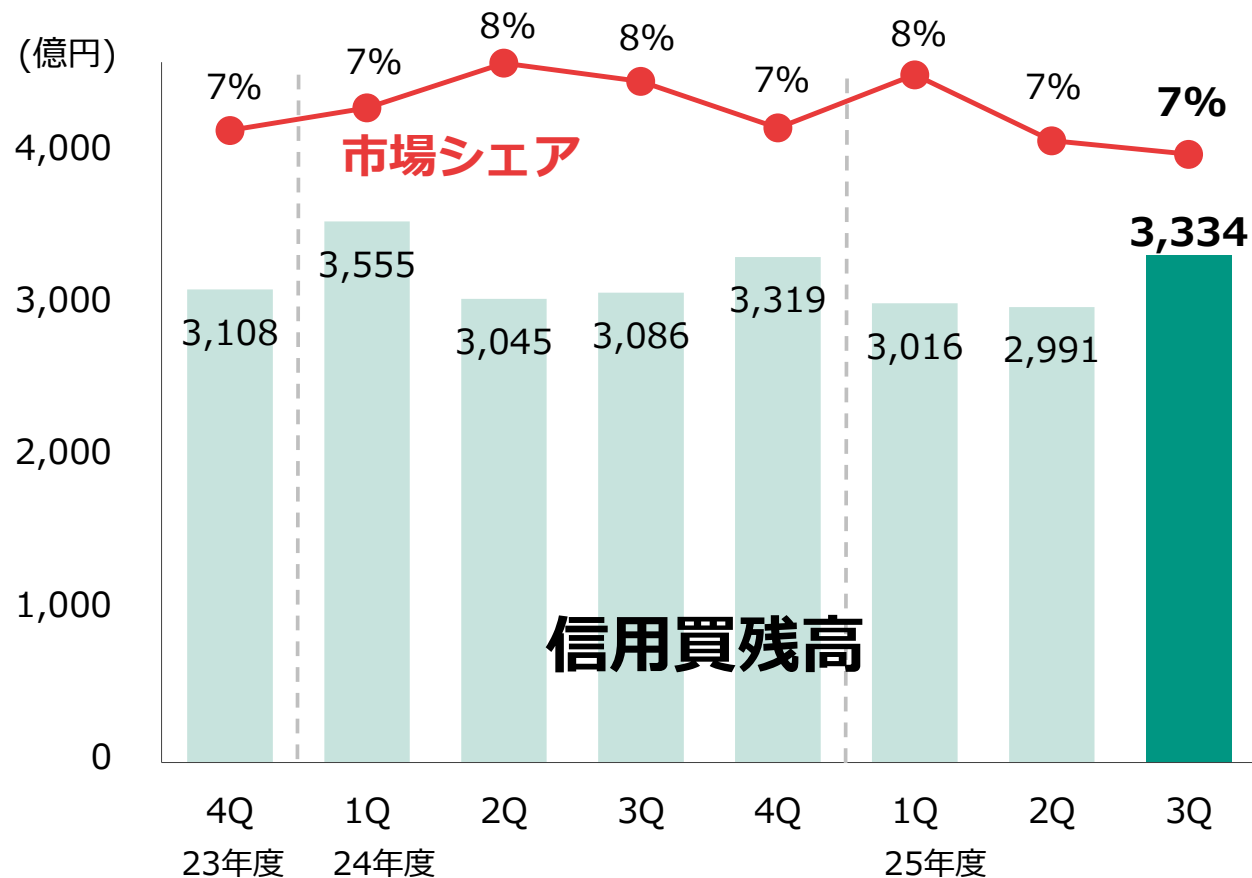


個人株式売買代金¹と個人比率

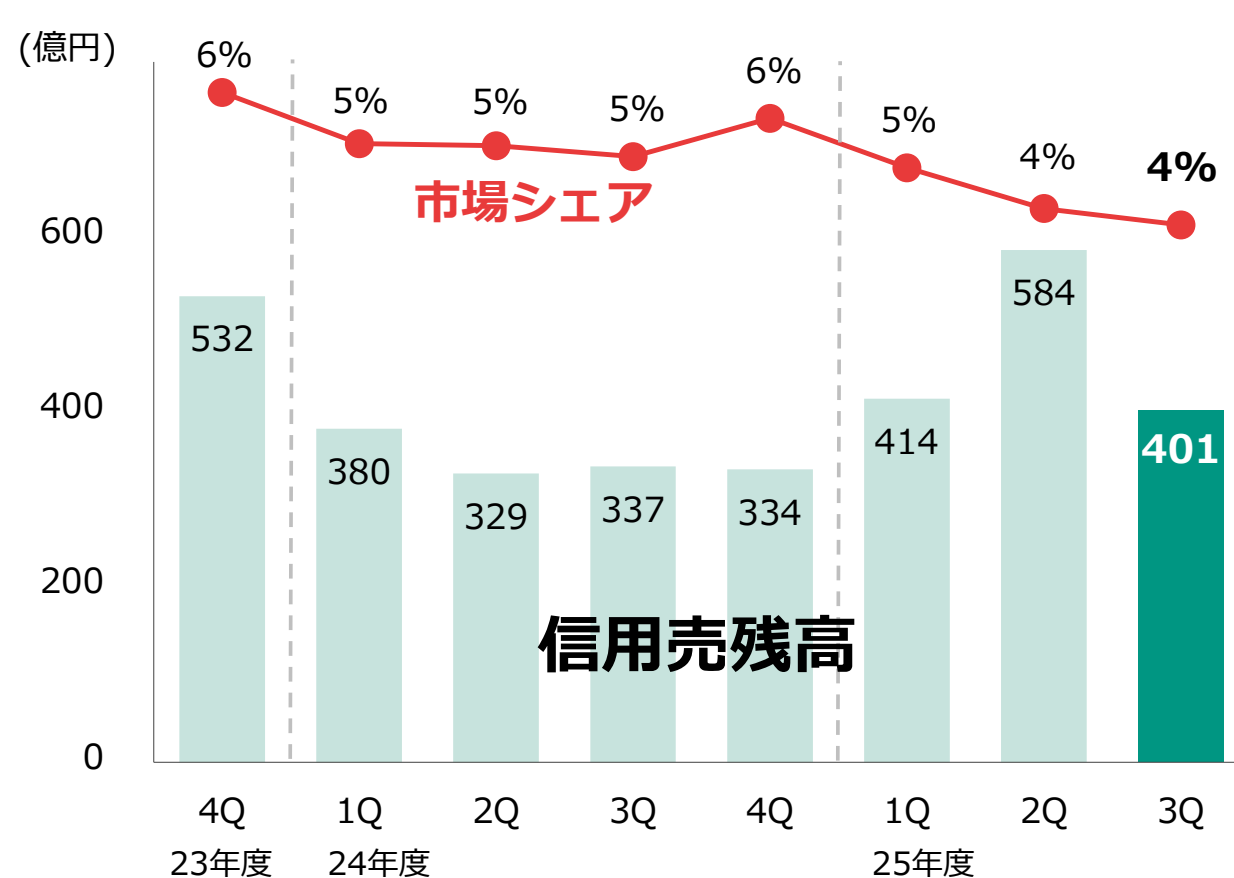


当社の市場シェアは、買残高 **7%**、売残高 **4%**

買残高と市場シェア

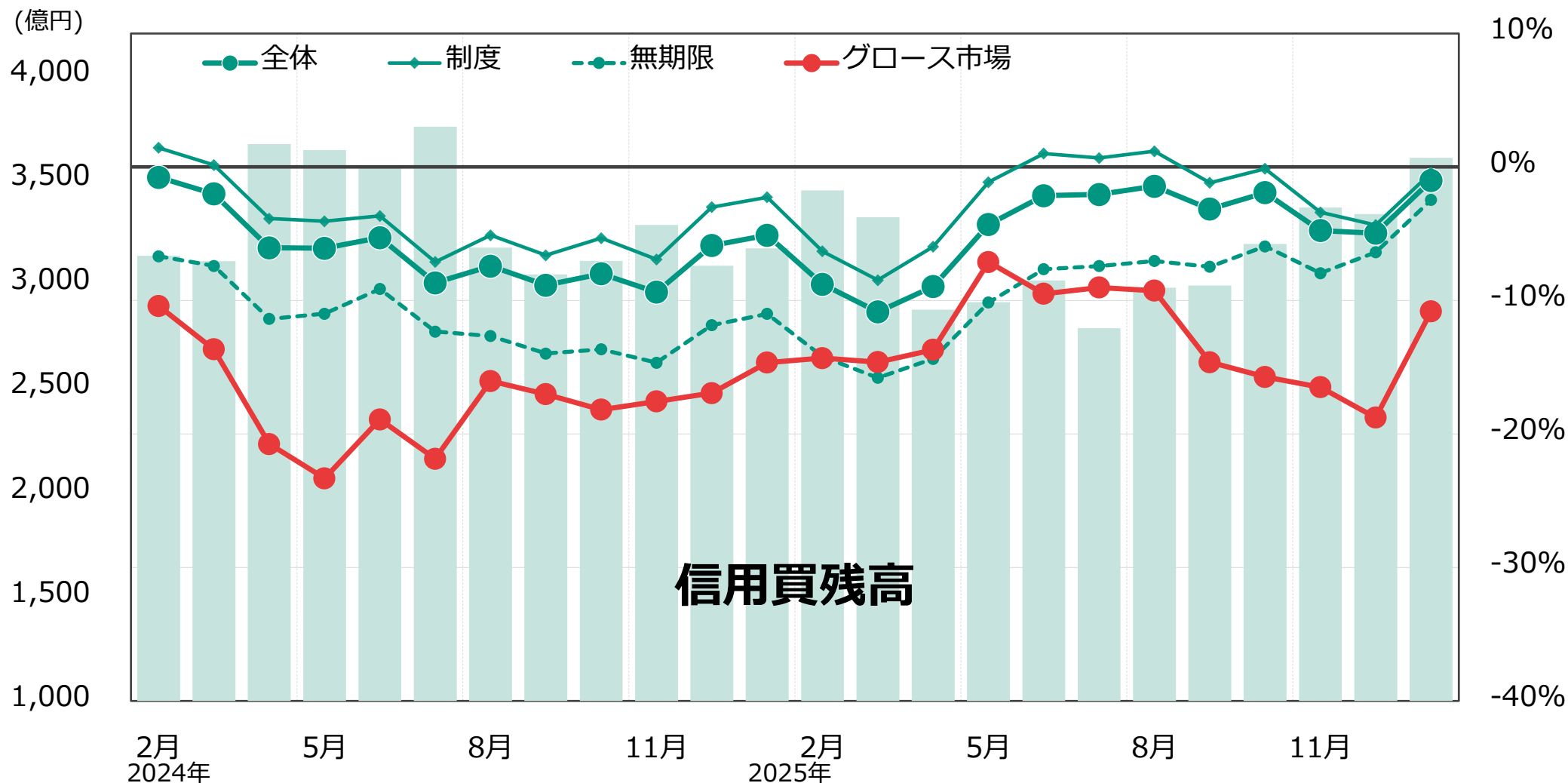


売残高と市場シェア



信用取引買残高に対する評価損益率

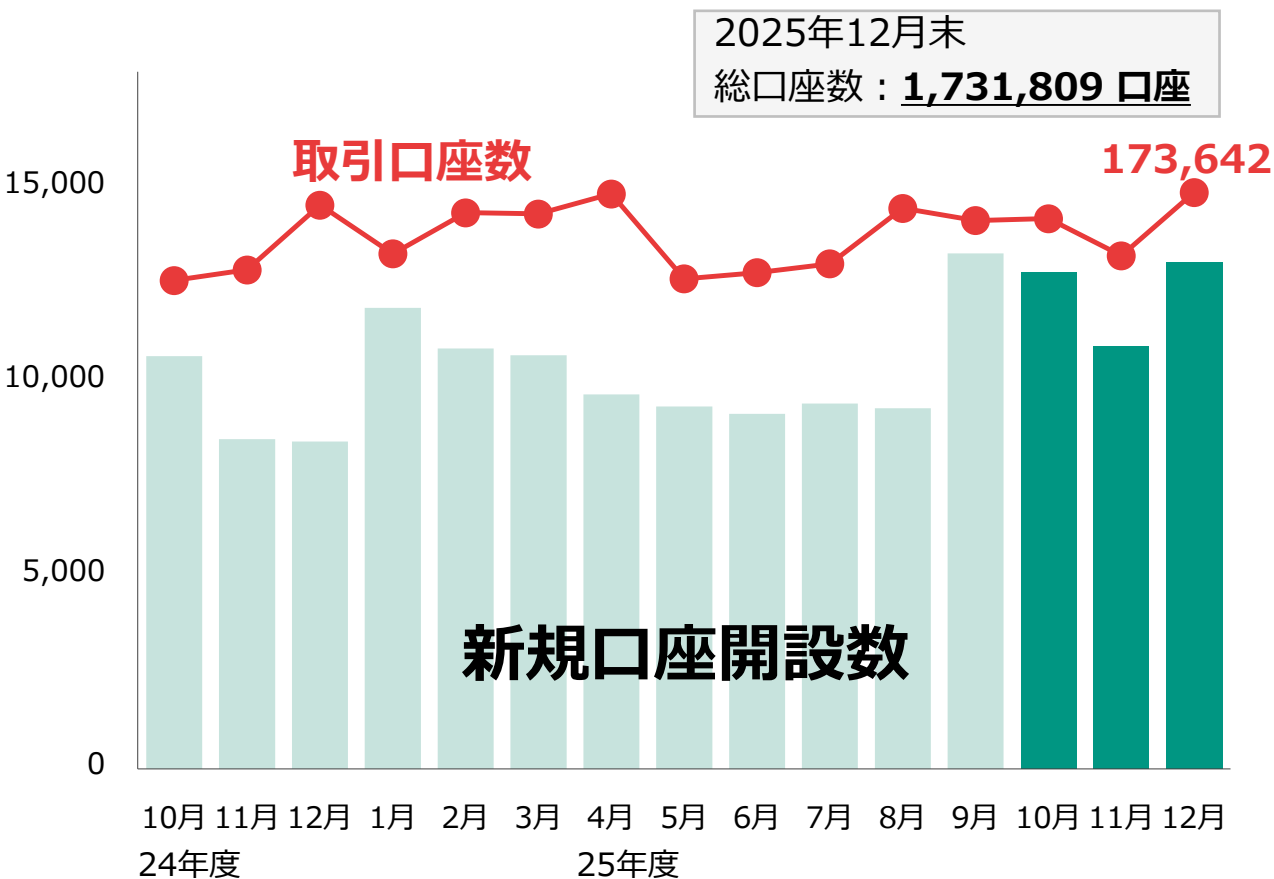
1月20日時点の評価損益率（全体）は **-1.0%**
グロース市場における評価損益率は **-10.8%**



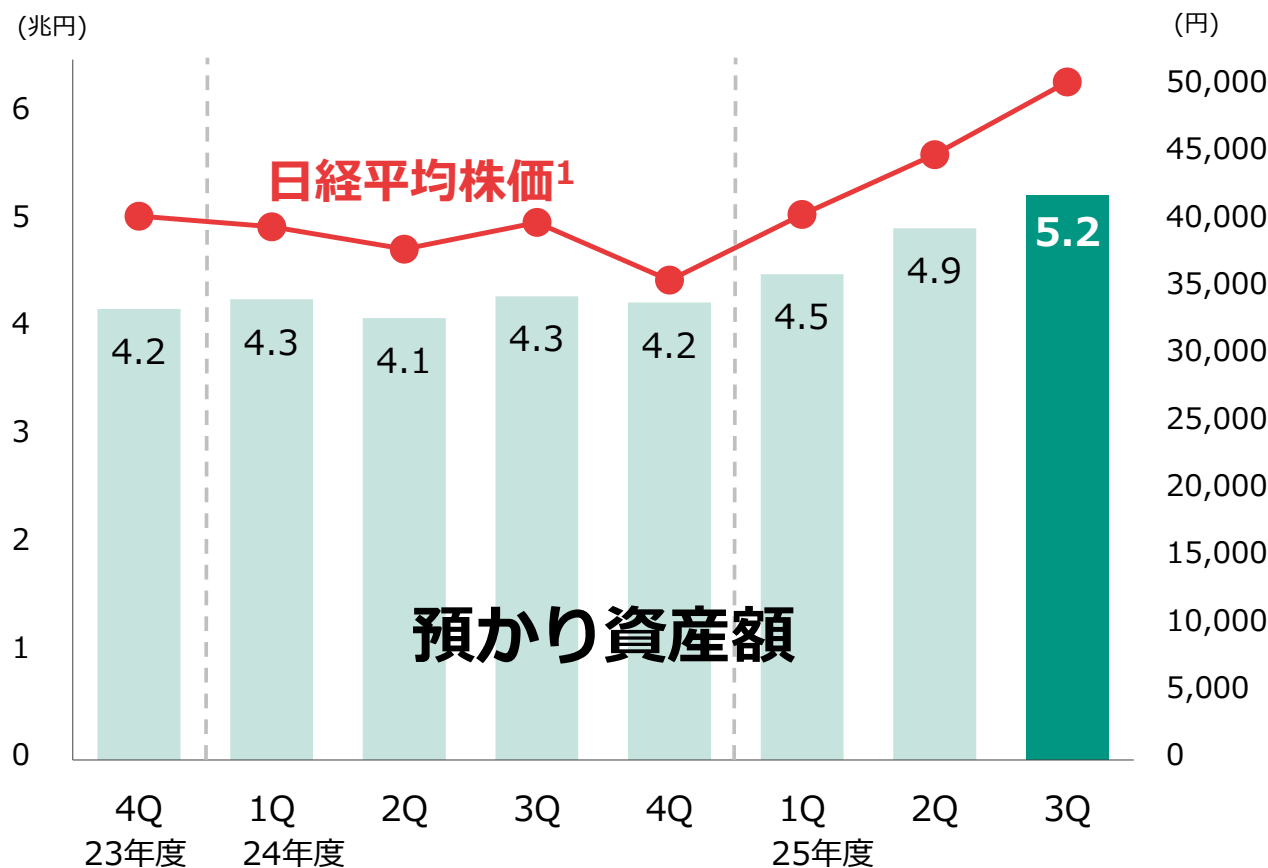
口座数・預かり資産

3Qの新規口座開設数は月間平均 約12,300口座

口座数の推移



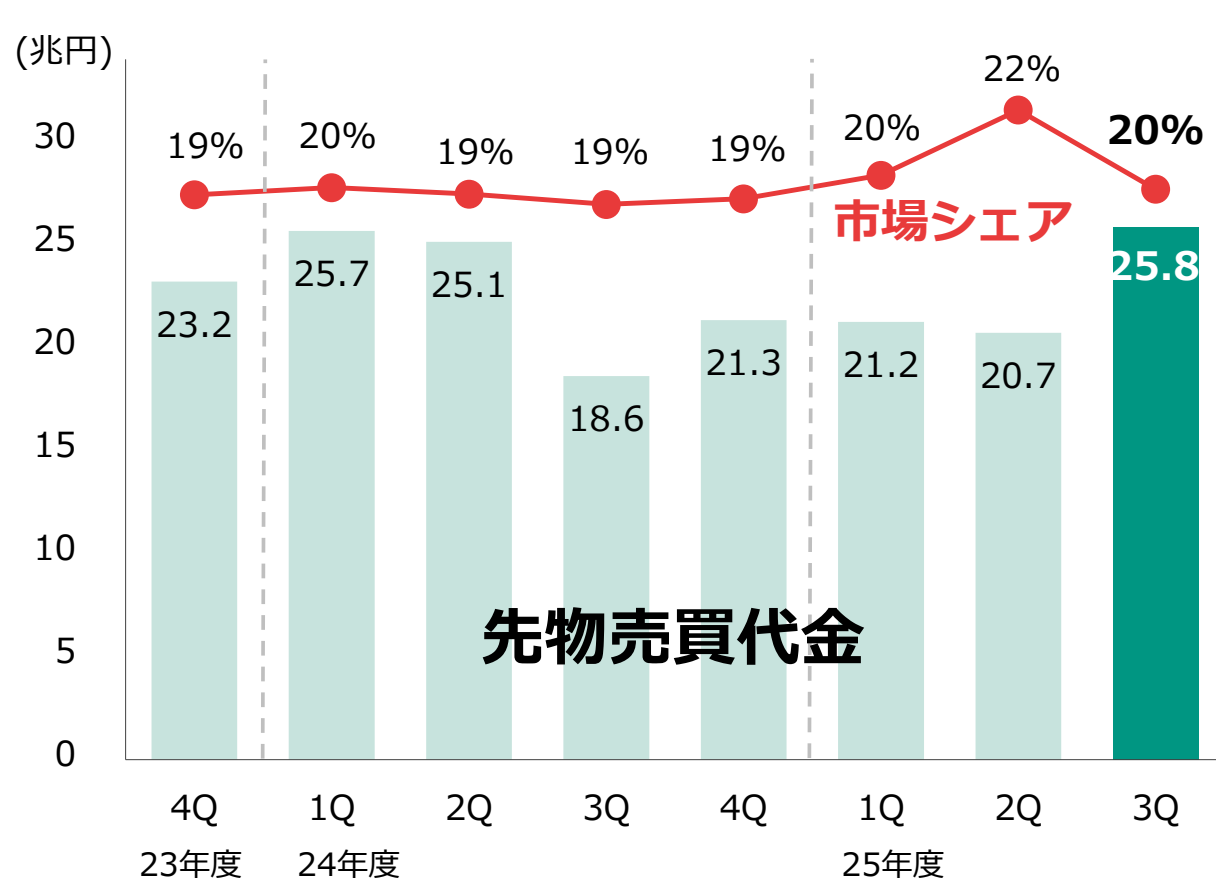
預かり資産



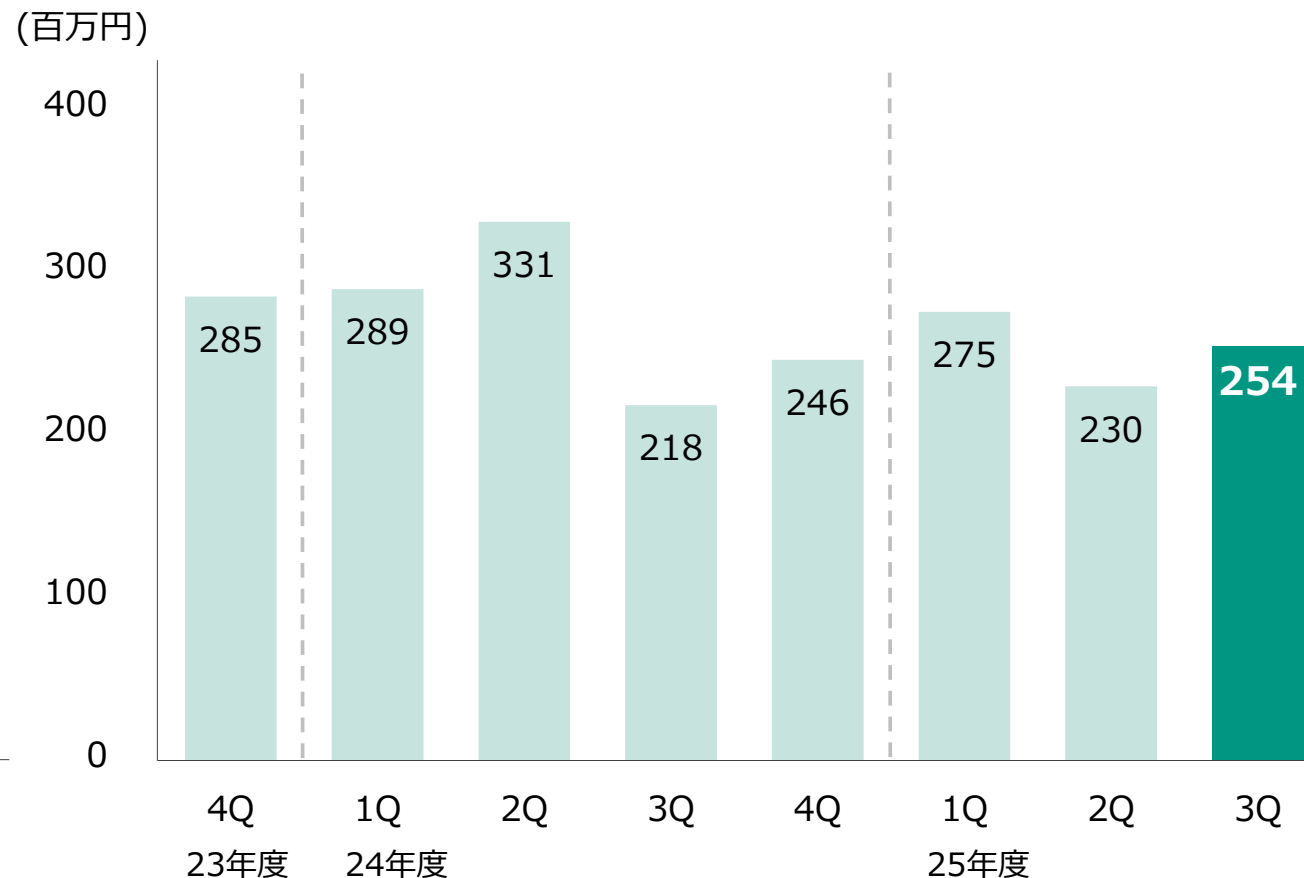
注1：日経平均株価は各期末終値

当社の市場シェアは **20%**

先物売買代金と市場シェア

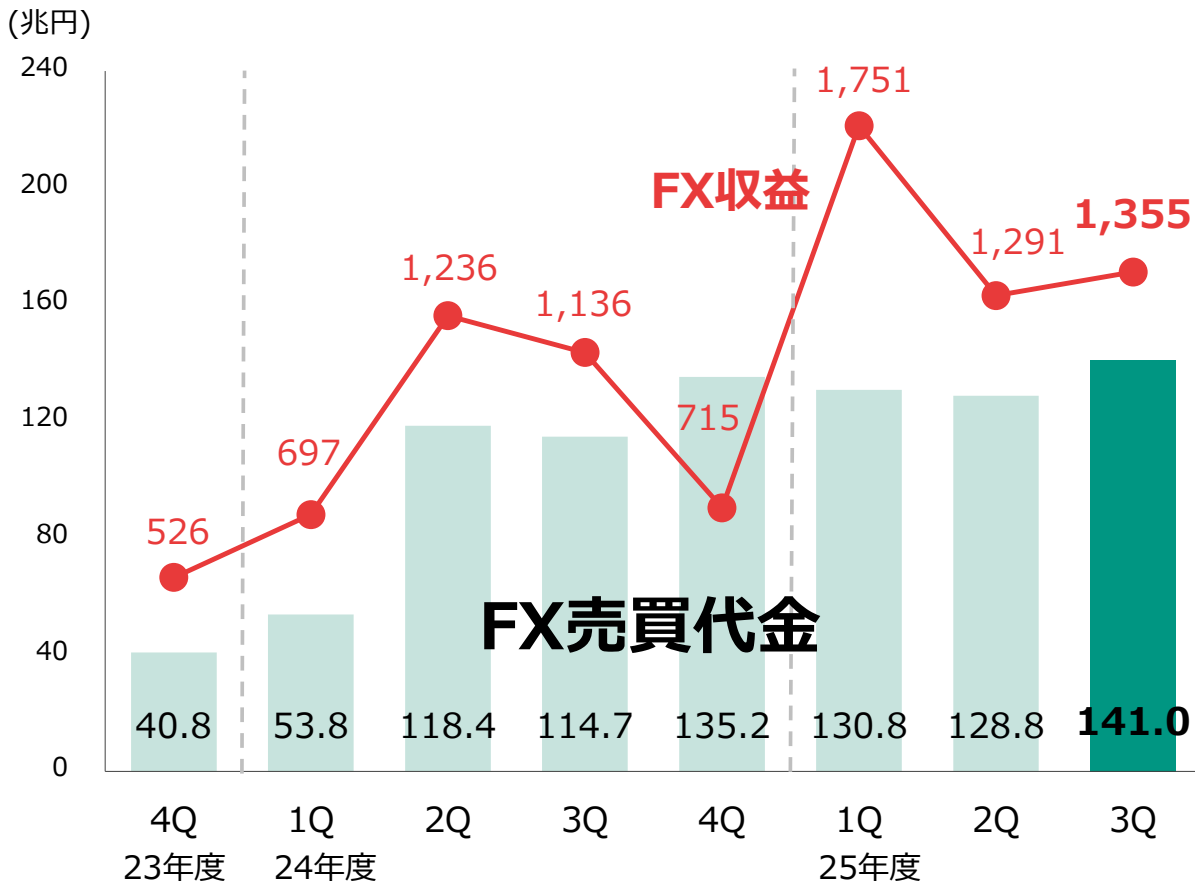


先物・オプション収益

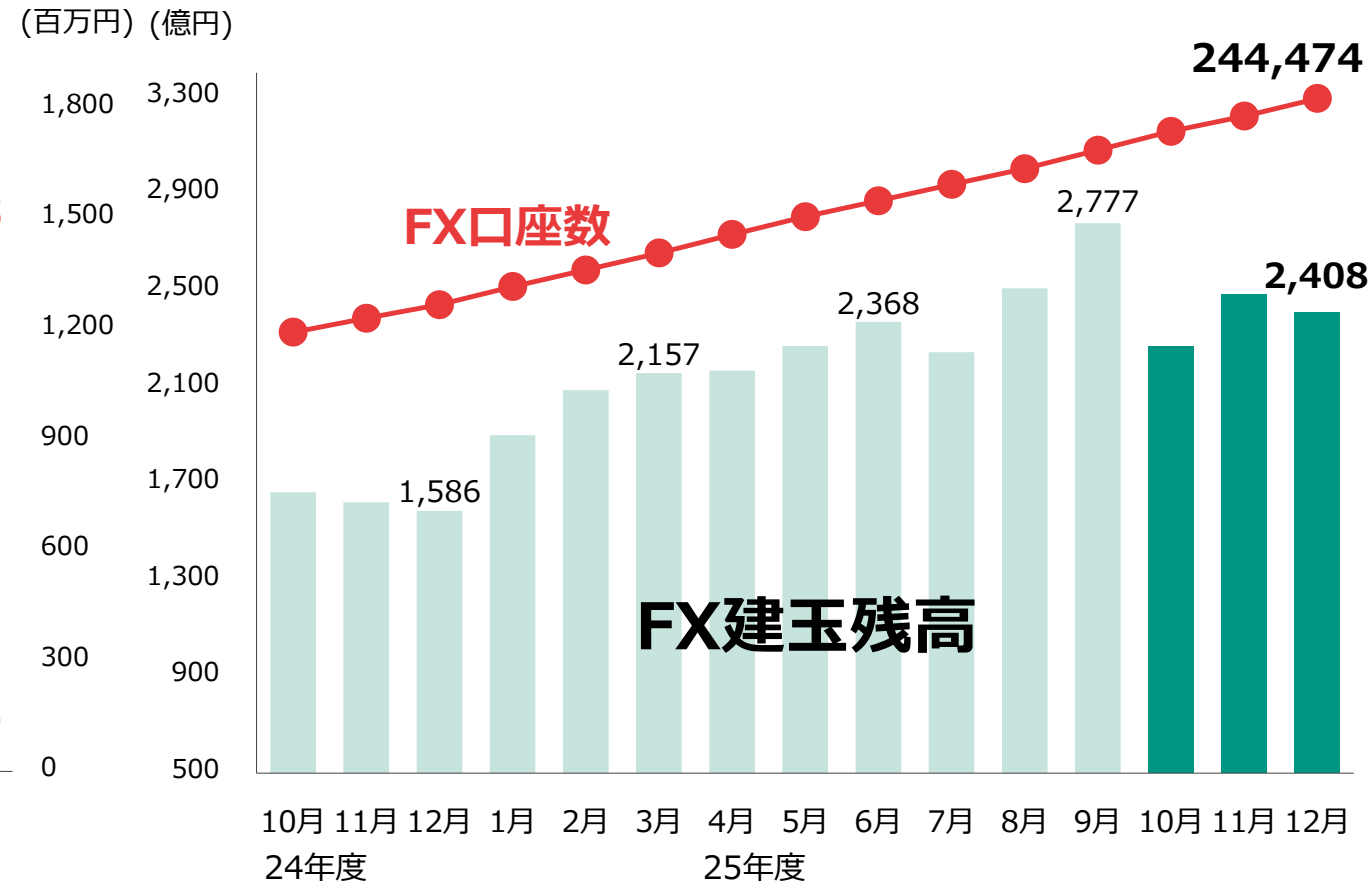


3Qの売買代金は **141.0兆円**、建玉残高は **2,408億円**

FX売買代金とFX収益

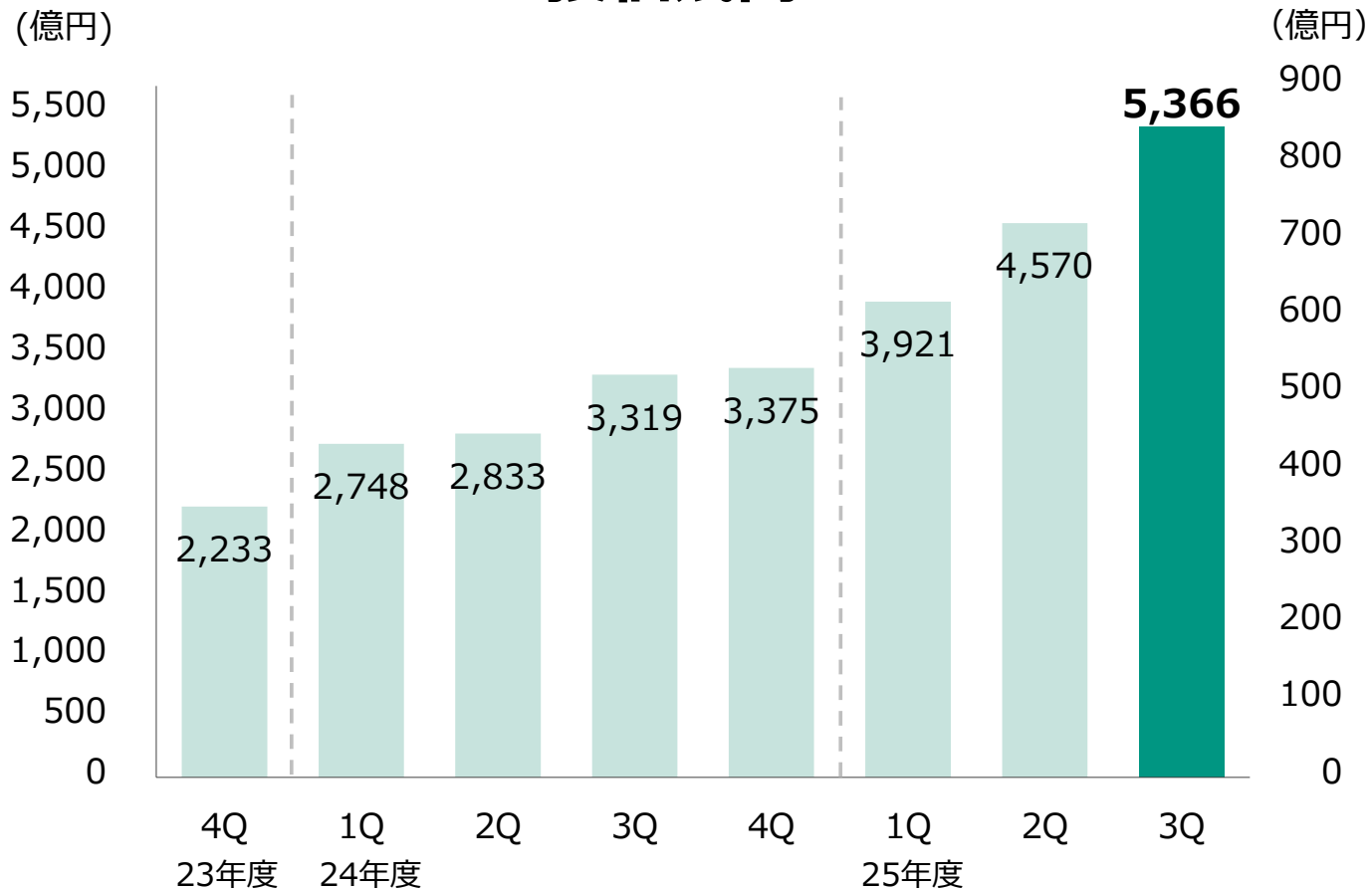


FX建玉残高とFX口座数

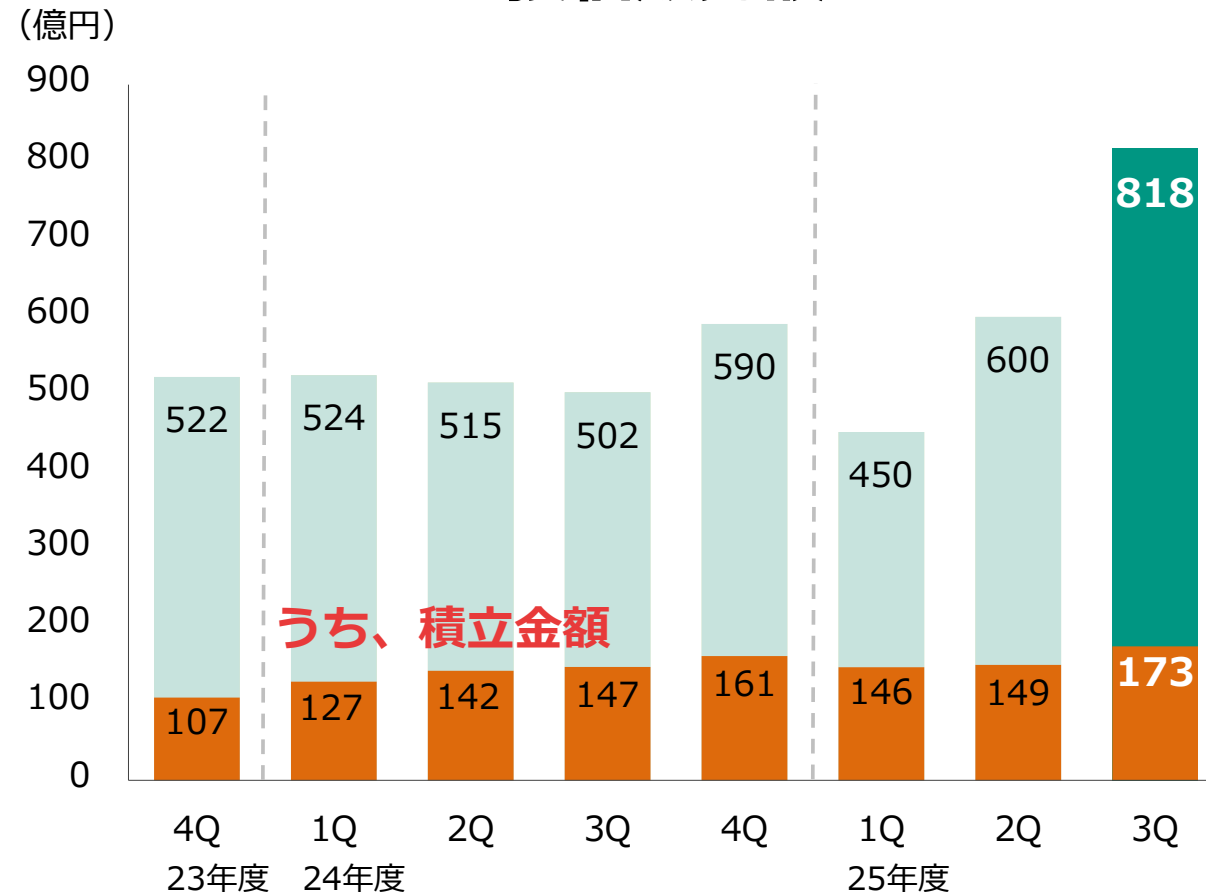


投資信託の残高は **5,366億円**
取扱銘柄数は **1,941本** (2025年12月末時点)

投信残高



投信販売額



注：上場投資信託（ETF）、米ドルMMFを除く実績

経営戦略・取組み施策

投資をより身近なものに感じられるイメージを喚起

- 自然体で親しみやすい魅力を持つ広瀬アリスさんをCMに起用
- ✓ 全都道府県でCMを展開



認知度向上に向けた取組みを継続

■ プロeスポーツチームとの取組み

- ✓ FENNELとのタイアップにより
若年層へのブランディングを強化

投資をまじめに、おもしろく。
MATSUI ×
松井証券

**キャンペーンに参加して
FENNEL
第五人格秋季IJLを
応援しよう!**
3大キャンペーン実施中!

1 Xフォロー&リポストで抽選で3,000名様に
 えらべる Pay が当たる!

2 秋季IJLプレイオフ会場のFENNELブースで
抽選結果の画面に表示されている合言葉を見せると、
先着でオリジナルステッカーを
1枚ランダムでプレゼント!
※抽選結果の画面のスクリーンショットをスタッフにご提示ください。

3 この投稿に「#松井証券」を付けて
「松井証券とFENNELにやってほしい企画」を引用ポストすると、
抽選で10名様に
ストリーマー・Precor氏との
撮影&サイン会が当たる!
12/19・12/20の秋季IJLプレイオフ会場FENNELブースで、
Precor氏と記念撮影!
※日時等の詳細は当選者様にDMでご連絡いたします。

【キャンペーン期間】①・②: 11月26日～12月21日 / ③: 11月26日～12月11日

■ 各社の認知度（2025年10月）

社名	認知度
SBI	73%
楽天	71%
松井	59%
マネックス	50%
三菱UFJ eスマート	40%

「投資×エンタメ」で、業界No.1ブランドを確立

■ 予約の取れない株相談所

- ✓ 著名人が株式取引の悩みを相談する人気番組がPart 3 に突入



■ チャンネル登録者・総再生回数

社名	登録者数	総再生回数
松井	63.2万人	1.2億回
楽天 (トウシル)	43.4万人	8,860万回
SBI (ビジネスドライブ!)	65.5万人	3,400万回
松井証券 マーケットナビ	15.4万人	2,240万回
マネックス (マネックスオンデマンド)	14.5万人	2,080万回
三菱UFJ eスマート証券 (投資情報専門チャンネル)	7.97万人	267.6万回

アクティブな投資家に合わせて多様なトピックを解説

■ 新番組 MATSUI DIALOG

- ✓ 様々な分野の有識者による対談を通じて投資のヒントを提供

■ 著名人によるマーケット解説

- ✓ 個人投資家の気になる話題をタイムリーにピックアップ



【メタトレンド投資】 KUKA・ソフトバンクGなどロボット分野が次のメタトレンド？/中島聡×ものづくり太郎が対談/中島聡実践！投資の3条件【MATSUI DIALOG】



【2026年株式投資戦略】日経平均4万円割れも…？/株価暴落を引き起こすトリガーは/AIバブルの崩壊はいつ訪れる？/日銀利上げの株式市場への影響【エミンの月間株式相場見通し12月号 | 松井証券】

投資情報メディアをリニューアル、UI・デザインを刷新

■ 多様なニーズに応じた情報提供

- ✓ 動画と記事コンテンツを用意し、状況に応じた情報収集が可能に

■ スマホファーストの設計

- ✓ スマホでの直感的な操作が可能に
- ✓ 新機能「再生数ランキング」を追加

マネーサテライト 口座開設 ログイン

動画文字起こし

1.年初の日経平均上昇の背景

日銀の利上げ後もインフレ率に比べ政策金利が低く、株式に資金が向かいやすい点が再認識された。加えてDRAM・フラッシュ不足を起点に半導体投資ブーム期待が高まり、関連株が物色。次期FRB議長が利下げ寄りになるとの見方も支え。

2.店内信用残が示す需給変化と注意点

年明けは買い残が減少し売り残が増加して需給が改善。評価損益率は買い方が相対的に優位。一方、日経ダブル

マネーサテライト 口座開設 ログイン

雇用統計

9日（金）22:30に発表された12月米雇用統計は、強弱入り混じる内容となりました。非農業部門雇用者数（NFP）は前月比5.0万人増と、市場予想の7.0万人増を下回る結果となりました。11月分は速報値の6.4万人増から5.6万人増に下方修正されています。一方、失業率は4.4%と市場予想の4.5%を下回る結果となりました。11月分は速報値の4.6%から4.5%へと下方修正されています。雇用者数は過去分も下方修正を含めやや軟調だったものの、失業率の継続的な上昇には至らず、労働市場の減速懸念が強まる結果には至りませんでした。概ね市場予想通りの雇用統計を受け、米ドル/円は157.50円を挟んで小動きの展開となりました。

高市首相、衆院解散検討

雇用統計発表からわずか30分後、読売新聞が「高市政権安定へ勝負...衆院解散検討、高支持率で慎重論振り切る」と報じ、米ドル/円は約1年ぶりに158円台をつけました。高い内閣支持率が総選挙の追い風になり、自民単独で衆議院過半数を獲得すれば、高市首相が退任する

マネーサテライト 口座開設 ログイン

#18: 国鉄時代を経て首都圏中心 & 国内最大級の鉄道事業へ

東日本旅客鉄道の歴史

NEW 日本株 21時間前

NEW 最近追加されたコンテンツ

日経平均なぜ...乱高下!?! 年始レアアース祭の真相! 復活銘柄 & 失望銘柄 13:08 NEW 日本株 2時間前

米国マーケットダイジェスト 先進・開国選から今後・見直し解説 TOPICS 26年主役はM7L 地政学リスクで防衛 NEW 米国株

マネーサテライト 口座開設 ログイン

再生数ランキング

デイリー 週間 月間

NEW 日本株 16:52

NEW 日本株 16:52

NEW 投資情報動画 1日前

マーケット情報

マーケット情報動画

サービスクオリティを向上し、より取引しやすい環境を提供

■ コアタイムの通常スプレッド

- ✓ 業界最狭水準(※)の0.2銭に縮小



■ Trading Viewにレートを配信

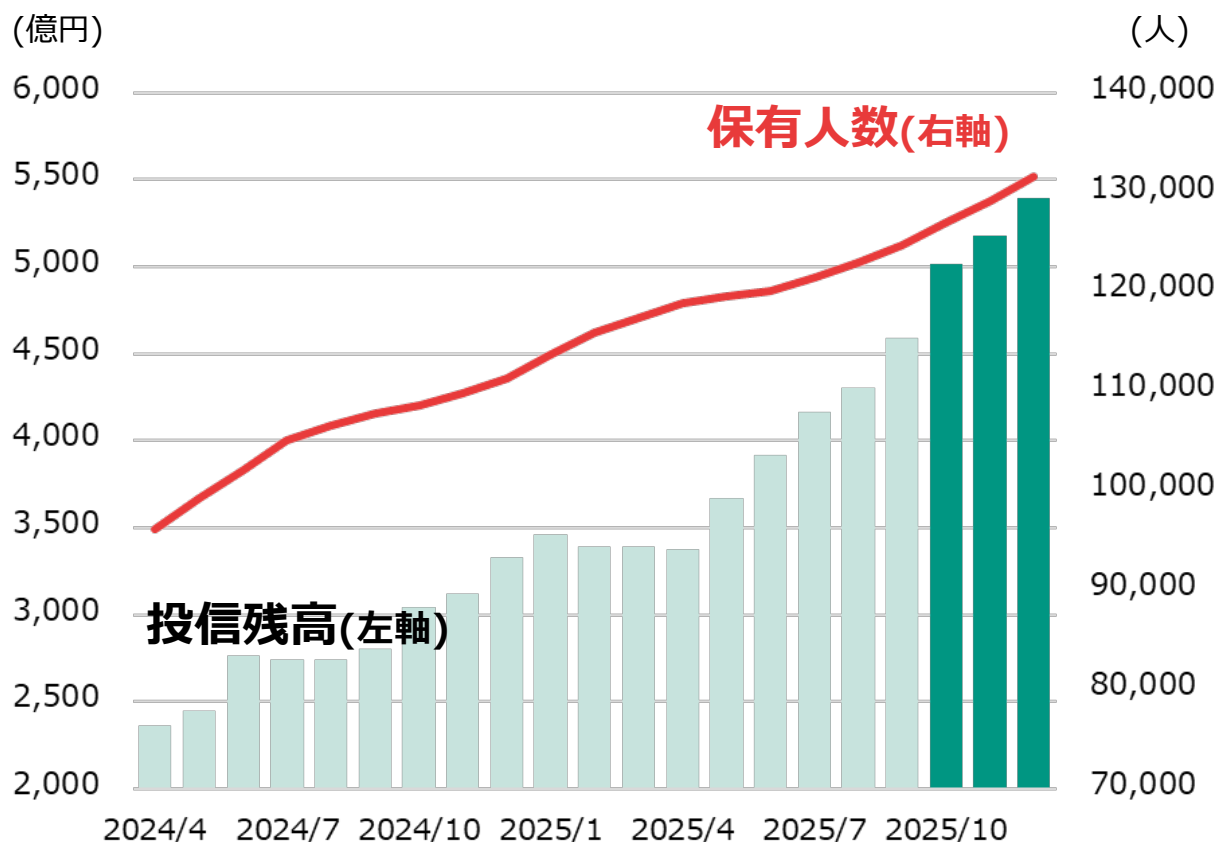
- ✓ 国内で110万人以上の投資家が利用
- ✓ 高度なテクニカル分析が可能

松井証券
MATSUI FX × TradingView

高機能チャート分析ツール
TradingViewにて
レート配信を開始

残高・保有人数ともに順調に拡大

■ 残高と保有人数



※松井証券店内データ

■ キャンペーンの実施

- ✓ JCB社とのタイアップによるキャッシュバック

JCB × MATSUI
投資をまじめに、おもしろく。
松井証券

JCBオリジナルシリーズ新規入会限定!

5万円(税込)以上のショッピング利用で

積立金額
に対して **最大17%** キャッシュバック!
(最大17,000円)

<https://www.matsui.co.jp/company/press/2025/pr251104.html>

円普通預金金利を業界最高水準^{*1}年0.65% (税引前)に引き上げ

■ 証券残高に応じた金利を提供

- ✓ 2026年2月中旬から開始

ランク種別	証券残高合計 ^{*2}	適用金利 ^{*3}
プラチナ	1,000万円以上	年0.65%
ゴールド	100万円以上	年0.52%
レギュラー	100万円未満	年0.41%

※1 2025年12月時点の金利について住信SBIネット銀行、松井証券調べ。円普通預金金利(優遇・上乗せ金利を含む)で比較

※2 証券残高は、日本株(現物残高・信用建玉)、米国株(現物残高・信用建玉)、国内公募投信残高が対象です。
※3 年利率・税引前。個人のお客様については、利息に対して20.315%(国税15.315%(復興特別所得税を含む)、地方税5%)の税率により源泉徴収されます(源泉分離課税)。マル優のお取扱いはありません。円普通預金の金利は変動金利です。2025年12月26日現在の金利です。

■ 参考

- ✓ 他行の円普通預金金利^{*4}

auじぶん銀行	年0.55%
SBI新生銀行	年0.50%
楽天銀行	年0.28%

- ✓ MATSUI Bank
残高706億円、16万口座^{*5}

※4 2026年1月時点の円普通預金金利(税引前)を掲載、金利適用には各社条件有。金利・サービス内容は予告なく変更される場合があります。最新の情報は各銀行の公式サイトをご確認ください。

※5 預金残高・口座数は、2025年12月末時点。

※ 松井証券は住信SBIネット銀行を所属銀行とする銀行代理業(許可番号: 関東財務局長(銀代) 第466号)を行っています。

■ 出資について

- ✓ 11/14に資本業務提携契約を締結

取得日	2025年12月2日
取得価額	約9.5億円（うち増資約7億円）
取得株数	788,000株 (内訳) 第三者割当増資：557,000株 既存株主分譲受：231,000株
議決権比率	27.4% 同社の筆頭株主へ

■ エージェントIGHについて

- ✓ 損保・生保を扱う、訪問型の専門保険代理店
- ✓ 損保業界の規制強化や募集人の高齢化を受け、M&A・事業承継を通じて事業を拡大中
- ✓ 昨今の保険業界の問題を受け、業界の再編・淘汰はさらに加速
- ✓ 当社からの資金調達により、大型・中型のM&A・事業承継を積極化
- ✓ 生保領域では、異業種のマーケットホルダーとの協業を推進

収益源の多様化と当社顧客への新たな価値提供

■ 新規事業領域の探索

- ✓ オンライン証券サービス以外の領域への事業開拓
- ✓ 変革期を迎える保険代理店業界における可能性への投資

■ 顧客の様々な金融ニーズに対応

- ✓ 投資を実践していない当社顧客（約100万口座）に対して、同社の持つ対面チャネルを活用し、ファイナンシャルプランナーが新たな接点を創出
- ✓ ライフプランのヒアリングや提案を通じて、これまで発見できていなかった金融ニーズを探索し、最適な金融商品の提供や資産形成の支援に繋げる

MATSUI

松井証券

×

Agent
IG Holdings

■ 強いブランドの構築

- ✓ 認知度の向上
- ✓ 顧客基盤の拡大

■ ラインアップの充実、特色のあるサービスの提供

- ✓ FX (サービスの継続改善)
- ✓ 米国株 (投資情報の拡充)
- ✓ MATSUI Bank (さらなる利便性の向上)

■ サービスクオリティの向上

- ✓ UI/UXの向上
- ✓ カスタマーサポートの拡充
- ✓ セキュリティの強化

Appendix

業績推移（四半期推移）①

(単位：百万円)

	2024年3月期	2025年3月期				2026年3月期		
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
営業収益 ¹	10,336	9,895	10,390	9,413	9,506	11,407	12,432	13,454
純営業収益	9,949	9,448	9,925	8,951	8,811	10,713	11,610	12,629
販管費	5,590	5,213	5,260	5,374	5,652	6,045	6,016	6,383
営業利益	4,359	4,235	4,665	3,576	3,160	4,668	5,594	6,247
経常利益	4,333	4,225	4,677	3,531	2,859	4,536	5,615	6,754
当期純利益	2,761	2,894	3,203	2,381	2,022	2,872	3,663	4,534
営業収益経常利益率	42%	43%	45%	38%	30%	40%	45%	50%
当社株式売買代金（兆円）	15.1	13.5	13.6	13.6	13.8	15.2	16.4	19.4
当社信用取引平残（億円）	3,497	3,922	3,641	3,430	3,533	3,285	3,388	3,745

注1：25年3月期より、顧客とのFXスワップポイントの授受に伴う収支を金融収支からトレーディング損益に変更。これに伴い24年3月期以降の各期においても同変更を反映

業績推移（四半期推移）②

(単位：百万円)

	2024年3月期	2025年3月期				2026年3月期		
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
受入手数料	6,265	5,218	5,376	4,604	4,772	5,246	6,101	6,736
委託手数料	5,989	4,944	5,123	4,320	4,505	4,996	5,823	6,398
株式・ETF	5,704	4,655	4,792	4,102	4,258	4,721	5,593	6,143
先物・オプション	285	289	331	218	246	275	230	254
その他	276	274	253	284	267	250	278	338
トレーディング損益 ¹	526	695	1,230	1,128	700	1,759	1,295	1,365
金融収支 ¹	3,157	3,535	3,320	3,219	3,339	3,708	4,214	4,529
金融収益 ¹	3,544	3,982	3,785	3,681	4,034	4,402	5,036	5,354
金融費用 ¹	387	447	465	463	695	694	822	825
純営業収益	9,949	9,448	9,925	8,951	8,811	10,713	11,610	12,629

注1：25年3月期より、顧客とのFXスワップポイントの授受に伴う収支を金融収支からトレーディング損益に変更。これに伴い24年3月期以降の各期においても同変更を反映

業績推移（四半期推移）③

(単位：百万円)

	2024年3月期	2025年3月期				2026年3月期		
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
取引関係費	2,108	1,649	1,539	1,653	1,911	1,925	1,849	2,139
取引所・協会費	429	398	393	369	390	433	439	458
通信・運送費	346	328	323	329	339	362	347	351
広告宣伝費	1,020	647	530	656	890	834	741	975
人件費	931	976	1,000	999	979	1,227	1,132	1,169
不動産関係費	245	267	277	282	286	305	303	302
事務費	1,265	1,287	1,305	1,382	1,374	1,465	1,600	1,635
減価償却費	862	857	903	924	955	919	911	944
租税公課	111	113	134	104	116	132	138	155
貸倒引当金繰入	3	3	44	△ 36	△ 1	△ 3	3	△ 28
その他	66	61	60	66	31	75	81	67
販管費合計	5,590	5,213	5,260	5,374	5,652	6,045	6,016	6,383

投資をまじめに、おもしろく。

MATSUI

松井証券

本資料に記載している事項は、資料作成時点における弊社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更することがあります。なお、本資料で使用するデータおよび表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。本資料のいかなる部分も一切の権利は松井証券株式会社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

松井証券株式会社 戦略企画部 IR担当

Tel : 03-5216-0784 Mail : ir@matsui.co.jp